

2021年1月13日発信、文責：海老名災ボランティアネットワーク代表・福田博

【1】会計からの報告（松井会計） 2020年12月末時点での会計報告

- 1) 一般会計 2020年12末日現在 361,786円（±0円）、（ ）内は11月末比
会員数：個人会員31名（±0）、賛助会員13名（±0）、団体会員3団体（±0）
2) 特別会計 23,540円（±0円、10月末比）

【2】活動報告 2020年12月1日～12月31日

- 1) 神奈川災ボラ主催のZoom体験セミナー、Zoomでの参加（海老名災ボラの参加者）
12月6日（日）Zoom講習会（基本編・参加者向け）、参加：福田、小澤、水本
12月8日（火）Zoom講習会（基本編・参加者向け）、参加：野中
12月13日（日）Zoom講習会（応用編・主催者向け）、参加：福田、石橋
12月15日（火）Zoom講習会（応用編・主催者向け）、参加：野中
- 2) 神奈川災ボラ主催の防災関係講習会：Zoomでの参加
①12月14日大川小学校の教訓を減災に生かす：講師・鷲山龍太郎、参加：野中、福田、三宅、石橋
②12月18日新型コロナ感染症予防と避難所運営、講師：県災害対策課職員参加：野中、福田、石橋
③12月19日Webによるフォームによる情報伝達訓練の体験実習、参加：野中、福田
- 3) 12月21日（月）10時～ 海老名市防災関連3者定例会
会場：海老名市総合福祉会館、出席者：福田、星野、社協：岩澤、危機管理課：川崎
テーマ：1月以降の災害ボランティアセンターの設置・運営訓練等の予定について

【3】今後の予定 2021年1月～3月**1) 海老名災ボラ定例会の開催：新型コロナ感染症拡大がある程度沈静化するまではZoom開催**

- ① 2021年1月10日（日）、10時30分～12時5分、定例会をZoomで開催
② 2月14日（日）10時30分～12時：海老名災ボラ定例会をZoomで開催予定

2018～20年度の海老名災ボラの代表（福田）が「20年度までで代表を辞任し、21年度は新しい方に役員を務めてほしい」と言明した。辞任の主な理由は「健康問題」・「高齢化による心身の衰え」である。

2月14日の定例会は定期総会準備が主なテーマで、特に21年度の役員候補（代表、副代表、会計、会計監査）を確定したい。「自薦・他薦・代表からの働きかけ」を行うので、皆さんの協力をお願いします。

③ 3月21日（日）10時30分～12時：海老名災ボラ定例会をZoomで開催予定

役員候補が決まれば、議案書（素案）が作成可能になるので討論ができる。（会計・会計監査は4月に）

2) 2021年度（令和3年度）海老名災ボラ定期総会：2021年4月～5月

定期総会は、新型コロナ感染症拡大が沈静化している状況であれば、感染防止対策を徹底したうえで、会場を借りて開催する。それが無理な状況であれば、2020年度と同様に「書面議決方式」で開催する。

3) 「新型コロナ禍での災害ボランティアセンターの設置・運営」に関する学習会・訓練等の開催

① 全社協及び他団体の資料を活用した学習会の開催：Zoom方式で1月31日（日）を予定

全国社会福祉協議会から災害ボラセンターの設置・運営に関する資料が出ており、それに準拠した資料が葉山災ボラ等から出されています。それらの資料を使って学習会を開催する。（資料は後日、送信・送付）

② 「新型コロナ禍での災害ボランティアセンターの設置・運営」に関する「図上訓練」実施：2月頃？

大規模災害時に文化会館（ロビー等）に災害ボランティアセンターが設置される予定で、文化会館の図面を見ながら図上訓練を実施。社協主催で、災ボラが協力する形で実施する（コロナ禍を考慮し少人数で）。

③1月23日（土）に海老名市社協から座間市社協主催「災害ボランティアセンター設置訓練」の件

座間市社協主催「災害ボランティアセンター設置運営訓練」に海老名市社協は見学に行くので、海老名災ボラにも誘いがあった。座間市内の会場に参加するので、新型コロナ感染症の状況を見て判断すると回答した。コロナの状況で座間市単独開催か、他市からの参加は未だ不明です。一応、参加希望者は福田まで連絡を。

④災害救援ボランティアセンター設置・運営の実地訓練：3月以降～

新型コロナ感染症拡大が沈静化した状況になれば、感染防止対策を実施した上で、文化会館を会場とした実施訓練を行う。人数は図上訓練よりは増やし、文化会館の休館日に開催する。現在、時期は未定。

4) メーリングリストへの登録、災ボラ line グループへの参加、Zoom のインストールの推進

①海老名災ボラのメーリングリストに登録している会員は、個人会員 31 名中・29 名、賛助会員 13 名中・7 名、団体会員 3 団体中・2 団体という現状である（会員総数 47 名中の 38 名）。80%は登録済である。しかし、メールをほとんど読まない人が一定程度いるので、情報共有が不十分な問題を抱えている。

②海老名災ボラ line グループへの招待：9 月中旬以降に招待。災害時の連絡網として有力。最近の参加者は 21 名（個人会員、賛助会員、団体会員代表者）で会員総数 47 名の約 45%である。

③Zoom のアカウント登録した会員は 16 名で会員総数の過半数に及ばない。多くの会員が Zoom アカウント登録し Zoom 体験で慣れることが必要だ。現状では登録者と体験者を増やしていくことが重要である。

1 月 10 日の海老名災ボラの定例会・Zoom ミーティングで、個人が登録（取得）している Zoom アカウント（有料）を使って開催された。海老名災ボラ（団体）として Zoom アカウントを（有料）を登録（取得）したらどうかという意見が出された。「Zoom の料金体系」（金額）が明確に示されていない中で討論された。それを補うために「Zoom の料金体系」（添付ファイル参照）を基本とした討論資料を示す。

【討論資料：海老名災ボラが実施する Zoom 会議の費用負担をめぐる討論の論点整理】（福田による）
災ボラの費用負担が少ない案から順に並べた（0 円、2200 円/月以下、2200 円/月、2700 円/月）

（A 案）1 回 40 分間は無料。40 分で切断されるので、休憩後に再びミーティング開催の操作を行う。アカウント登録をしている方なら誰でも主催者（ホスト）になることができる（災ボラの費用負担は 0 円）

（B 案 1）Zoom の有料アカウント「プロ」を持つ個人の Zoom アカウントを提供してもらう。何回・何時間・様々な団体に提供しても 2200 円/月。会計を考慮し適切な費用助成（1～2200 円未満）を行う。

（B 案 2）災ボラとして有料アカウント「プロ」に登録。ホストは 1 人、費用負担は 2200 円/月で確定。

（C 案）災ボラとして有料アカウント「ビジネス」に登録。ホストは 10 人、費用負担は 2700 円/月

★（B 案 2）と（C 案）では、災ボラとしてのアカウント登録（メールアドレス、ID、パスワード）と災ボラのクレジットカード作成が必要になる（カードから料金引き落とし⇒安全性への配慮が必要）

★どの案を選ぶか、また、いつまで Zoom 利用を続けるのかによって、費用負担は大きく違ってくる。今後の会計（年間収入と支出）の動向を考慮する必要がある。2 月定例会で討論し「当面」の方針を決める。

5) 海老名災ボラのホームページの更新の件

2018 年 11 月 24 日以後～更新が出来ていないので、広報班（野中、館、鷺見）で調整中である。

6) その他：各種情報

①「海老名市地域防災計画の修正案」に対する意見募集：（メーリングリスト [EDVN3123～25] 1 月 10 日昼に三宅さんが発信したメールの添付ファイルを参照）、意見がある方は三宅さんに連絡してください。

②2 月 11 日（木）「広域連携かながわ図上訓練」主催：広域連携かながわ図上訓練実行委員会、第 2 日
開催時間：10 時～16 時 30 分、Zoom での参加、申込方法や会議の内容等は、海老名災ボラのメーリングリスト [EDVN:3126] に石橋さんが 1 月 10 日（日）12 時 54 分に送信したメールを参照。

③海老名市総合福祉会館は 1 月 8 日～2 月 7 日まで休館。他の施設は市ホームページを参照。 以上